

萌える天北オロロンルート

■地域のねらい

テーマ：暮らしぶりの映し。北の光が続く道。
 ・このルートで観てもらいたいもの。それは、厳しく、そして美しい自然の中で営みを続けてきた、私たちの「暮らしぶり」そのものです。ルートを走り、出会うもの。それは、この地に暮らす私たちが大切にしている幾条もの光。そして、光射す海、まち、道に垣間見える、生き活きと暮らす人々の笑顔。暮らしを通じ、道を通じて、9つのまちから光を発し続けます。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・北海道の日本海側北部、留萌支庁に位置し、1市7町1村が縦に連なるエリアです。海岸線を縦走する国道231号、232号、主要道道稚内天塩線による「日本海オロロンライン」、加えて内陸部と連続する国道233号、239号などがあります。

～地域資源～

・海岸沿いは、夕日の名所として知られ、天売、焼尻島や利尻岳への眺望など優れた海辺。南部の狭隘な雄冬海岸とダイナミックな断崖、北部のサロベツ原野の広がりなど変化のある自然景観を呈しています。また、北海道遺産「増毛の歴史的建物群」や「留萌のニシン街道」など、江戸末期から明治にかけての歴史的な街並みを今に残しています。

■地域の活動推進体制

「ルート運営代表者会議(活動団体38団体)」
 「ルート運営行政連絡会議(国土交通省、北海道、関係市町村他)」

■地域資源、活動内容



サロベツ原野から望む利尻岳
(幌延町)



菜種油・ヒマワリクレー
エネルギー



天売・焼尻島への眺望(羽幌町)

食材オーナー制度



フォトコンテスト



旧花田番屋(小平町)



エゾカンゾウ植栽活動

